

終夜睡眠ポリソムノグラフィー(PSG)				S113	
				担当部署	
PSG				生理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→終夜睡眠ポリグラフィー→終夜睡眠ポリソムノグラフィー(PSG)			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		夜間睡眠時に酸素吸入を行っている場合は SpO2 値に影響する。			
検査受付時間		8 : 45～17 : 30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		1) 夕食を済ませ、睡眠できる体制にしておく。 2) 19 時頃機器装着し、翌朝起床時まで検査を実施する。(要入院)			
検体採取の特別なタイミング		夜間睡眠時に検査実施			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		1) 予測しがたい発作や睡眠時異常行動がみられる患者 2) 検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間		返却後 8 日日					
生物学的基準範囲		該当なし					
臨床判断値		一晩の睡眠 7 時間中 10 秒以上の無呼吸あるいは低呼吸が 30 回以上、1 時間あたりの平均 {無呼吸低呼吸指数(apnea-hypopnea index;AHI)} で 5 回以上みられ、日中の過眠、中途覚醒などの睡眠障害を認める場合、あるいは症状がなくても AHI が 15 回/時間以上の場合を睡眠時無呼吸症候群と診断する。睡眠時無呼吸症候群の 90% 以上は閉塞型睡眠時無呼吸症候群である。 [睡眠時無呼吸の分類] ①閉塞性無呼吸(obstructive apnea)：上気道の閉塞による無呼吸。口・鼻気流は停止しているが、呼吸努					
基準値					単位	特記事項なし	
共通低値		共通高値		男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
特記事項なし		特記事項なし		特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
パニック値		高値	該当なし				
		低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし					
臨床的意義		睡眠時無呼吸・低呼吸症候群を代表とする睡眠呼吸障害の検査法として脳波・眼電図・頤筋電図・下肢筋電図・気流信号・心電図・経皮的動脈血酸素飽和度(SpO2)・呼吸運動・体位・いびきセンサーなどの多種の生体現象を同時に記録する精密検査法である。					